

# 医療安全かわら版

横須賀共済病院 医療安全管理部 第13号 (2026年5月)

## 患者間違い防止のために

患者間違いとは、本来の患者さんとは別の人に、検査や治療などを行ってしまうことをいいます。

患者間違いを防ぐために職員は、

- ・患者氏名をフルネームで確認する
- ・患者さんにはフルネームで名乗ってもらう
- ・病棟や急患室では、バーコード認証を実施する

といったことを基本としています。

**お名前確認は、『患者さんの安全を守るため』にとっても大切なことです。**

## 患者間違いが起りやすい場面その① 呼び出し時

- ①「はい」と返事をされた患者さんが別の患者さんだった
- ②似ている名前、同姓同名の方がいた  
同じような年齢、背格好の方がいた



**名前を呼ばれたらフルネームで名乗って下さい**

※同姓同名がいる場合は、生年月日もお願いします。



## 患者間違いが起りやすい場面その② 処置時 (採血など)



- ①同じ部屋に、似ている名前や、同じ病名の患者さんがいた。
- ②同じ時間帯に、同じ処置をする患者さんがいた。



**バーコード認証実施時も、フルネームで名乗って下さい**

※早朝や深夜でも、バーコード認証します。

## 患者間違いが起りやすい場面その③ 書類など受取時

- ①説明書や同意書に、別の患者さんのものが混入していた
- ②スケジュール表や処方箋に、別の患者さんの物が混入していた
- ③渡された薬に、別の患者さんのものが混入していた



受け取ったものは  
**全て名前を確認して下さい**

「あれ？自分じゃない？」と思ったら、遠慮なくお声がけください★